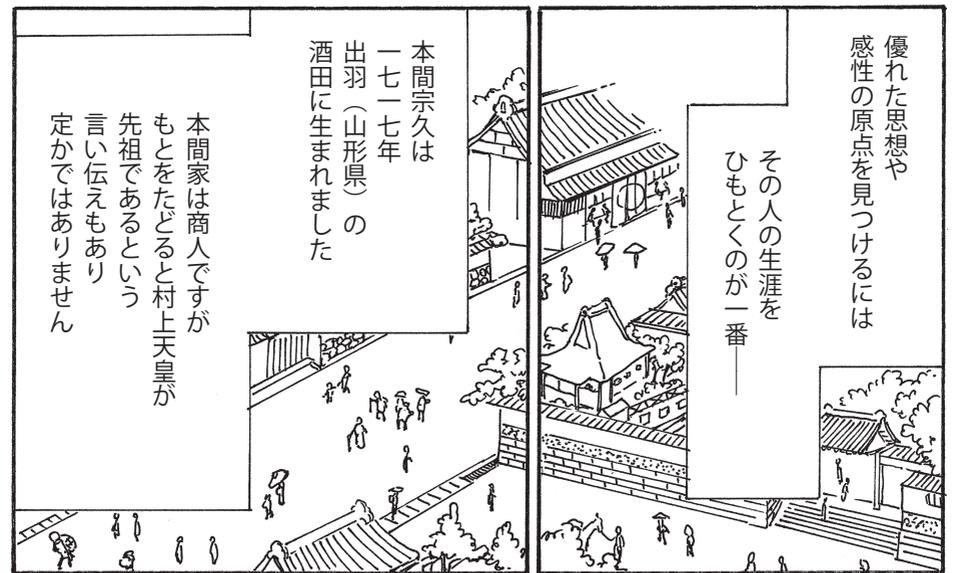
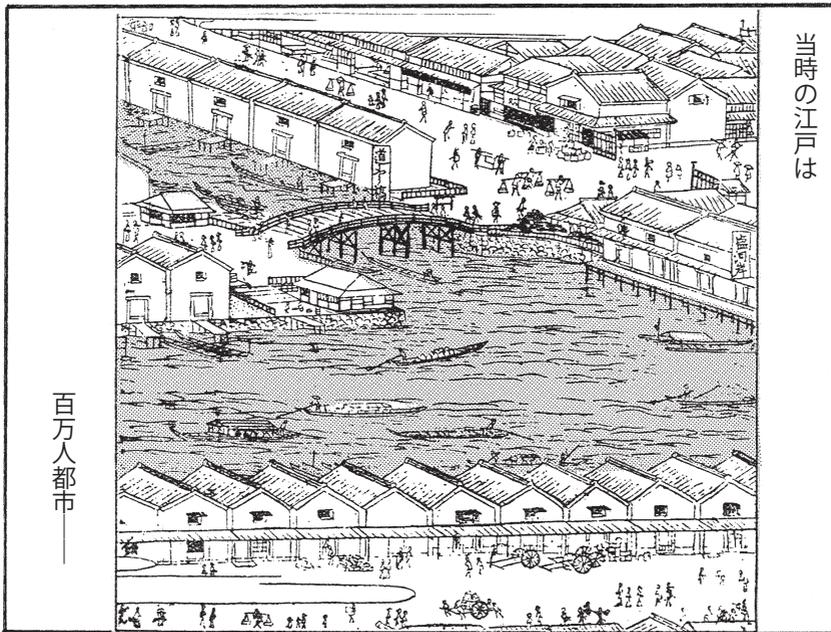


中段

本間宗久の生涯





百万人都市

当時の江戸は

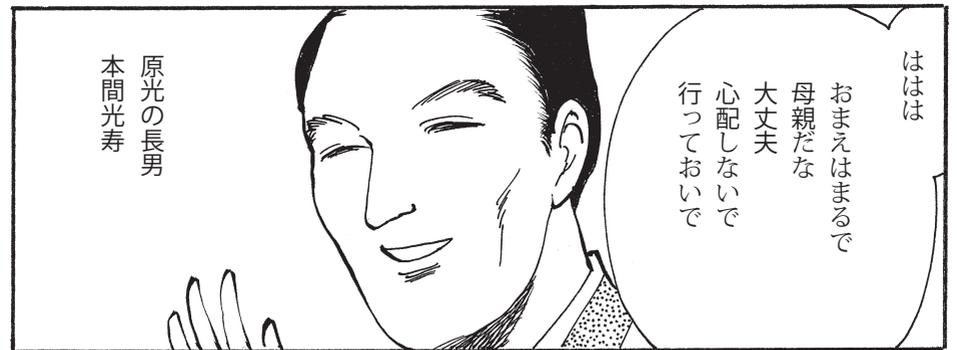
かくして久作は
初めて江戸を訪れるのだが



兄さんは
病気がちだから
心配です
私がない間
無理をしないでください
ね
夜は早く寝て
体は冷やさないように
ご飯もちゃんと食べないと…



久作[※] (宗久の幼名)
せんべつだよ
あ
兄さん
ありがとう



原光の長男
本間光寿

ははは
おまえはまるで
母親だな
大丈夫
心配しないで
行っておいで



それは当時
世界最でも大級の
巨大都市だった[※]

※当時、パリやロンドンでも八〇万人だったと言われる。



でも久作さんは
残念ながら
五男坊なのよね
いくら優秀でも
跡取りには
なれないなんて
もったいない話よね



兄とはいっても
久作より
二六歳も年上で
兄弟というより
親子に近かった

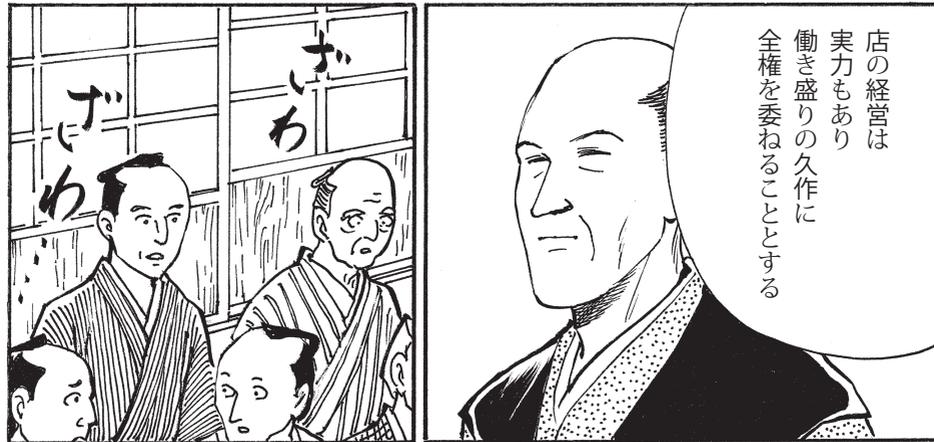


ひ
人だらけだ…

そのパワーは
年若い久作を
圧倒するのに
十分だった

※「宗久」の名は後年になって改めたもの。それ以前には「久作」「伝次」などいくつかの名がある。ここでは便宜上「久作」で統一した。





店の経営は
実力もあり
働き盛りの久作に
全権を委ねることとする



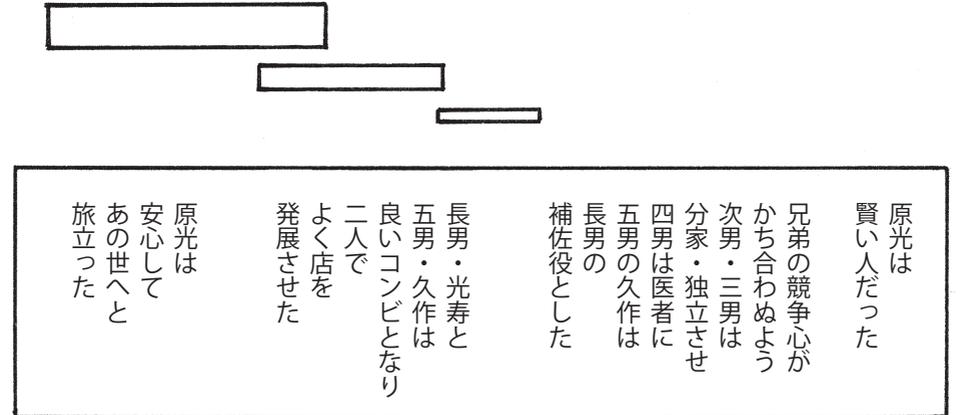
しかし
この報告を聞いて
父・原光は喜ばなかった

相場に手を
出しては
いけない

えっ

商いの
正道では
ない

……



原光は
賢い人だった
兄弟の競争心が
かち合わぬよう
次男・三男は
分家・独立させ
四男は医者にな
五男の久作は
長男の
補佐役とした

長男・光寿と
五男・久作は
良いコンビとなり
二人で
よく店を
発展させた

原光は
安心して
あの世へと
旅立った



本来であれば
私の長男・光丘が
跡取りとなるところだが
まだ一九歳の未熟者ゆえ……

しばらく
修行に
出てもらう

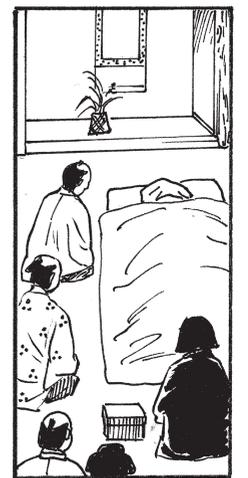
愛媛の奈良屋さんは
大変 勉強になるから
奉公してきなさい

※当時、頼山陽という儒学者を迎えて商人の道を
追求した大物商人。



皆の衆
よく
聞いてくれ

私も今日で
六〇歳だ
このあたりで
隠居しようと思う



それから
数年後の
長男・光寿の誕生日



愛媛…!?
そんな
遠いところへ…

父上は
私に家を
出て行けと…!?

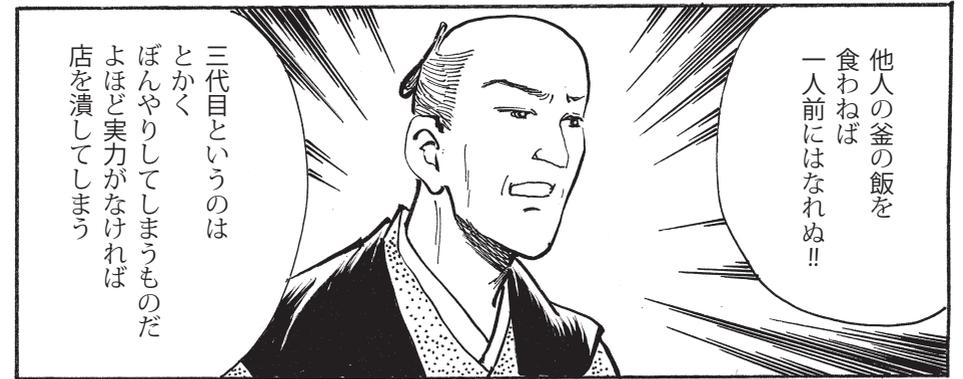
そうでは
ない!!



久作は
店を任されると
それまで
密かに研究してきたことを
実行に移した

すなわち
店の金を使って
相場を
はったのである

久作の読みは
面白いほど
よく当たり
酒田中の人々が
目を丸くした



他人の釜の飯を
食わねば
一人前にはなれぬ!!

三代目というのは
とかく
ぼんやりしてしまうものだ
よほど実力がなければ
店を潰してしまう



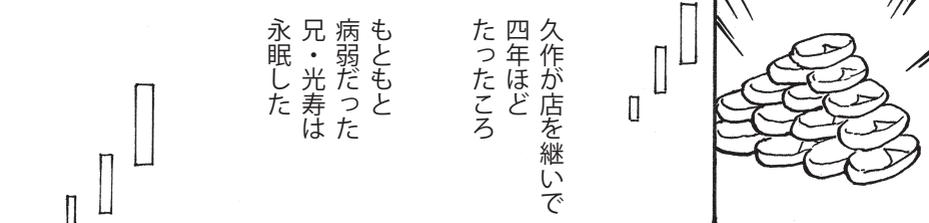
そして
あっという間に
数万両
(今の数十億円)を
稼いでしまった!!

驚いたねえ
久作の
実力には

このほかに
米の資産も
ありますよ

……っと
また持病が

あっ
ご隠居様!



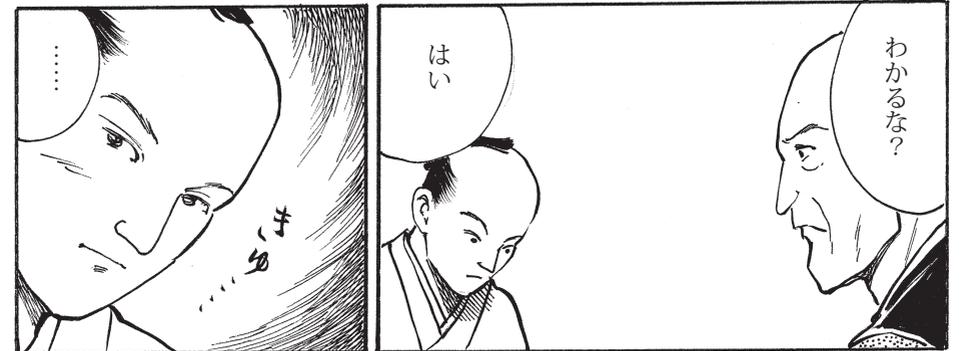
久作が店を継いで
四年ほど
たったころ

もともと
病弱だった
兄・光寿は
永眠した



そして
その長男・光丘が
愛媛から
戻ってきて

事態は
微妙になってきた



わかるな?

はい



久作
おまえは大変
才能がある

店のことは
すべて任せるから
思い切って自分の考えで
切り盛りしてみなさい

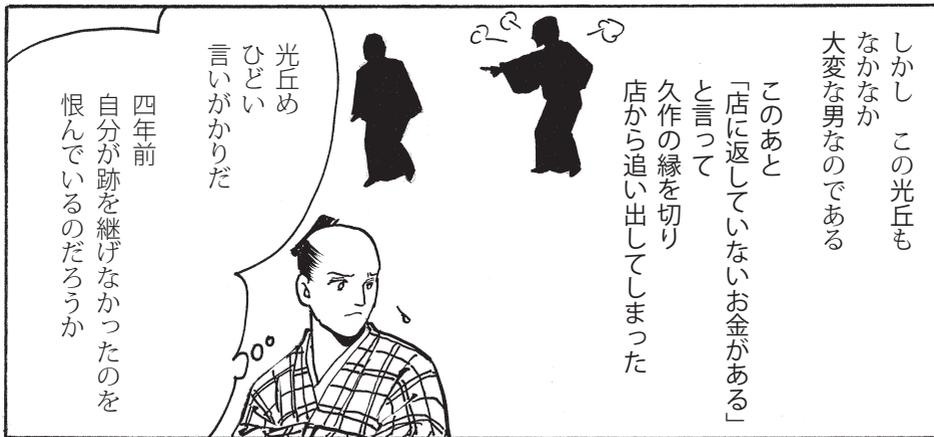
兄さん……!

ありがとうございます
ございます



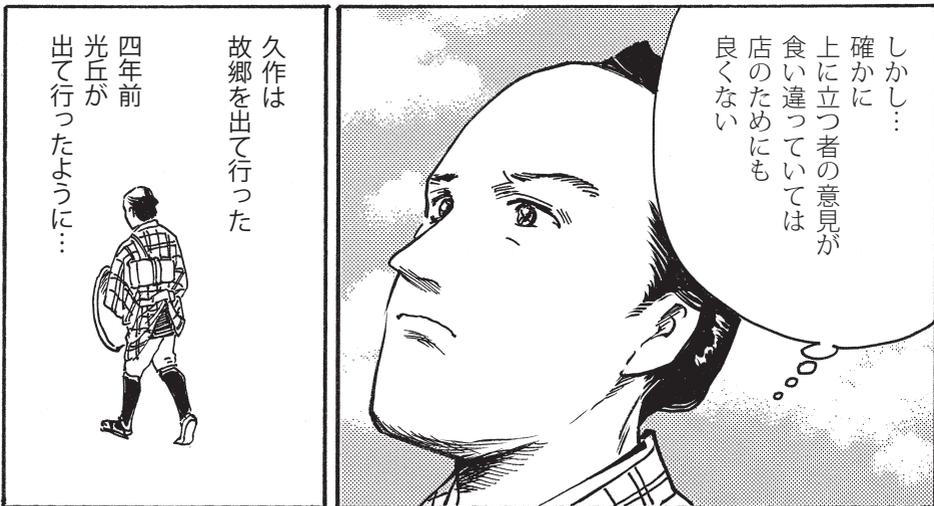
それでは皆さん
今日から
よろしく申し上げます

正直 私には
叔父さんのような
力がいりません
地道に堅実に
やっついていきますので
どうか
ご協力のほど
お願いします



しかし この光丘も
なかなか
大変な男なのである
このあと
「店に返していないお金がある」
と言って
久作の縁を切り
店から追い出してしまった

光丘め
ひどい
言いがかりだ
四年前
自分が跡を継げなかったのを
恨んでいるのだろうか



しかし：
確かに
上に立つ者の意見が
食い違っているのは
店のためにも
良くない

久作は
故郷を出て行った

四年前
光丘が
出て行ったように…



皆さん
お話がありますので
集まってください

私は
父・光寿の長男で
この店の正式な
跡取りでございます



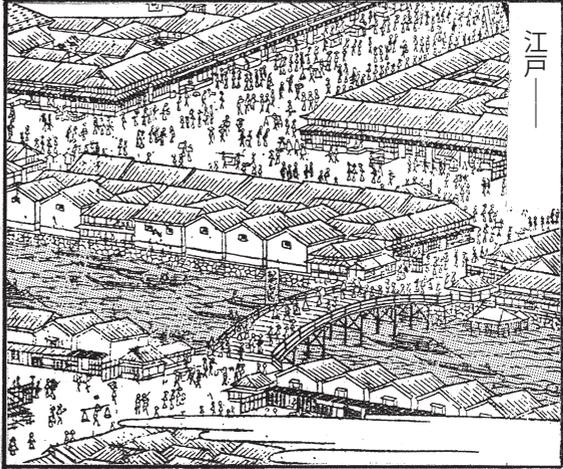
承知
いたしました

もともと私は
臨時のお勤めです
今まで
ありがとうございました

ざわっ

つきましては
本日より
私がこの店を
切り盛りさせて
いただきます
叔父さんも
よろしいですね？

江戸



相変わらず
すごい
人だなあ…



買いだ

買い!

買い!



す



…売り!



江戸で
ひと儲け
してやろう

売りだ!

甥の光丘を
見返してやる



ところが
とんでもない
誤算が
久作を
襲った…!!